

令和7年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立千島体育館
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	体育館は、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	大阪クリーン工房・SSK・KSC共同事業体 【構成員】 株式会社 クリーン工房 株式会社 エスエスケイ 株式会社 ケー・エス・シー
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 管理運営の成果・実績(体育館)

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		87.0%
達成率		108.8%

2 管理運営の成果・実績(トレーニング室)

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		
達成率		

利用状況（メインアリーナ）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	90.8%	83.7%	7.1%

利用状況（サブアリーナ）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（柔道場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	24.6%	25.0%	-0.4%

利用状況（剣道場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	32.7%	39.1%	-6.4%

令和7年度 指定管理者年度評価シート

利用状況（会議室大）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	42.6%	43.5%	-0.9%

利用状況（会議室中）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（会議室小1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（会議室小2）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（会議室小3）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	11,200,000	11,200,000	0	特になし
	計画	11,200,000	11,200,000		
利用料金（使用料）収入	実績	22,687,220	21,113,490	4,187,220	大会や企業イベントの誘致、開催増、部活動やクラブの利用拡大等のため。
	計画	18,500,000	18,000,000		
自主事業収入	実績	10,958,649	10,959,769	1,058,649	教室事業が好調のため。
	計画	9,900,000	9,800,000		
その他収入	実績	215,000	350,719	-85,000	特になし
	計画	300,000	300,000		
合計	実績	45,060,869	43,623,978	5,160,869	利用料金及び自主事業収入がUPしたため。
	計画	39,900,000	39,300,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	16,755,067	14,795,016	2,255,067	社員のベースUP及び最低賃金の上昇のため。
	計画	14,500,000	14,000,000		
物件費	実績	10,769,503	11,495,576	769,503	電気料金の高騰及びAEDリース契約の見直しのため。
	計画	10,000,000	10,000,000		
修繕費	実績	702,821	3,812,025	-797,179	スタッフで完結出来る内容については外注を控えたため。
	計画	1,500,000	1,500,000		
自主事業支出	実績	10,954,712	11,105,978	2,054,712	事業収入（教室収入）が伸びたことに比例しUPしたため。
	計画	8,900,000	8,800,000		
その他支出	実績	6,291,629	4,840,104	1,291,629	本部社員の人件費高騰により本社管理費がUPしたため。
	計画	5,000,000	5,000,000		
合計	実績	45,473,732	46,048,699	5,573,732	人件費、物件費、自主事業支出がUPしたため。
	計画	39,900,000	39,300,000		

令和7年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	108.8%	B	

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・設備更新はLED化や空調・給湯の適正運転による、光熱水費の削減 ・軽微な修繕や定期清掃はスタッフ対応による、外部委託費の抑制 ・複数業者からの見積取得による、調達コストの最適化	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

・アンケートの実施やご意見箱の設置・ホームページでの意見収集に取り組んでいる。収集した意見や要望については、運営会議において情報共有を図った上で、具体的な改善策の検討を行う。他施設の運営スタッフの意見も共有し利用ルールの見直し、利用者ニーズに応じたサービス向上に取り組んでいる。 ・施設利用時のマナーに関する苦情（騒音・後片付け不備等）。 →注意喚起の掲示物を設置するとともに利用前説明を強化。必要に応じて巡回を強化し再発防止を図る。 ・近隣の施設から駐車マナーについて苦情（無断駐車・路上駐車など）。 →館内掲示やホームページ等で注意喚起を行うとともに、事前案内を強化。悪質な場合は個別注意、館内放送する等、再発防止に努める。
--

6 外部専門家意見

創立50年と、施設の老朽化の問題が常に課題となる中、利用者満足度は高い水準を維持しており評価できる。来年度以降も高い水準を維持向上させるために、利用者からの苦情に対して迅速に対応する姿勢を維持し対応願いたい。 自主事業については、教室事業をはじめ、利用者の施設利用を促進し、運動や活動への意欲を高める機会となっている点は評価できる。また、学校や地域コミュニティとの連携を図る取り組みがみられる点についても、地域との関係づくりを意識した施策として評価できる。一方で、自主事業に係る収入と支出はいずれも計画を上回っているものの、ほぼ同額となっていることから、次年度は収益性も意識した計画を立てられたい。あわせて、これまで施設を利用する機会の少なかった地域住民にも足を運んでもらえるような自主事業の実施についても期待したい。 収支については、計画を上回る収入を得られているものの、支出が更に計画を上回る実績となっており、収支差がマイナスとなっている点については改善の必要性がある。次年度は、民間事業者ならではのアイデアや工夫を活かし、更なる管理費の縮減や効率的な施設運営に取り組み、収支の改善につなげていただきたい。

令和 7 年度 指定管理者年度評価シート

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和7年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立港スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	大阪クリーン工房・SSK・KSC共同事業体 【構成員】 株式会社 クリーン工房 株式会社 エスエスケイ 株式会社 ケー・エス・シー
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		88.0%
達成率		110.0%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	98.7%	97.5%	1.2%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	97.2%	97.2%	0.0%

利用状況（多目的1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	83.1%	81.6%	1.5%

利用状況（多目的2・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	23,700,000	23,700,000	0	特になし
	計画	23,700,000	23,700,000		
利用料金（使用料）収入	実績	9,382,710	9,180,350	-117,290	特になし
	計画	9,500,000	9,000,000		
自主事業収入	実績	8,260,599	7,792,330	860,599	教室事業が好調のため
	計画	7,400,000	7,300,000		
その他収入	実績	59,039	49,206	-40,961	特になし
	計画	100,000	100,000		
合計	実績	41,402,348	40,721,886	702,348	特になし
	計画	40,700,000	40,100,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	16,751,494	16,595,568	2,751,494	社員のベースUP及び最低賃金の上昇のため
	計画	14,000,000	13,500,000		
物件費	実績	14,315,341	14,018,606	-1,184,659	特になし
	計画	15,500,000	15,500,000		
修繕費	実績	2,211,594	1,310,760	611,594	消防設備の修繕費用がかさんだため。
	計画	1,600,000	1,600,000		
自主事業支出	実績	6,547,483	6,590,038	447,483	特になし
	計画	6,100,000	6,000,000		
その他支出	実績	4,091,841	3,983,036	591,841	緊急案件が数件発生し、その為に本社からの訪問回数が増え本社管理費が増加したため。
	計画	3,500,000	3,500,000		
合計	実績	43,917,753	42,498,008	3,217,753	特になし
	計画	40,700,000	40,100,000		

4 管理運営状況の評価（1 次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	110.0%	A	

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<div>・光熱水費削減・ ・利用者状況確認し、巡回及び通常時に、電気の点灯・消灯。水道の止水。空調の自動OFF設定（男女更衣室） ・第一体育場第二体育場・器具庫のLED化完了したことで電気削減。誘導灯も故障交換時にLED化している。 ・体育場の照明及び器具庫の照明のONOFFを事務所に管理する。 ・節電の為、ロビー照明の間引き点灯。 ・冷暖房については、教室講師や一般利用責任者(競技により)、利用者の希望を優先しながら、利用者と相談して対応する。 ・事務費で、カラー印刷の削減（複合機によるカウントチェック）、紙ベースを必要最低限にし、データ管理。 ・無駄な紙利用を削減・ ・事務所内で使用する用紙は使用済み用紙の裏面使用なども行う。</div>	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

<div>・毎朝開館前の清掃、3時間おきの巡回での清掃、職員の輪番による、部屋毎常の清掃と、常に清潔に対応している。 ・アンケートを実施し、利用者の意見を施設運営に、出来る限り反映させる。 ・ご意見箱をロビーに設置し、利用者の意見も施設運営に反映させる(出来ない事の場合も返信は張り出す)。 ・受付窓口やロビーでの情報交換にて利用者の要望・希望を聞き出す。 ・教室担当、講師、生徒それぞれに意見交換をし、利用者（生徒）の獲得の意見交換や運営の情報交換を行う。 ・利用の為の備品などの点検及び破損した場合の交換等を早く行う。 ・利用の際の備品の利用の方法や注意等、間違いが無いように掲示し、見てわかるように配置している。 ・トイレのシューズ履きで履けるサンダルの対応(足数を徐々に増やしていく)。</div>

令和7年度 指定管理者年度評価シート

6 外部専門家意見

利用率、利用者満足度ともに高い水準を維持できており、評価できる。多目的室についても8割を超える利用率を確保している点は評価できるため、精力的に取り組まれている広報活動や利用者・地域住民のニーズ把握を活かしながら、利用機会の創出を図り、現在の高い水準からもう一段の稼働率向上につなげていただきたい。来年度以降も高い水準を維持向上させるために、利用者からの苦情に対して迅速に対応する姿勢を維持し対応願いたい。

既に稼働率が高い状態であるため現状以上の利用料金収入の増加につなげることは難しいことが予想されるが、実績が計画を下回っているため利用率と利用料金収入のバランスを考慮した計画を立てられたい。

収支について、今般の人件費や光熱水費等物価の高騰が続く中、光熱水費については計画値よりも抑えた実績となっている点は評価できるが、トータルで収支差がマイナスとなっていることから、次年度は、民間事業者ならではのアイデアや工夫により、更なる管理費の縮減に取り組み収支の改善につなげていただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和7年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立大正スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	大阪クリーン工房・SSK・KSC共同事業体 【構成員】 株式会社 クリーン工房 株式会社 エスエスケイ 株式会社 ケー・エス・シー
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		89.0%
達成率		111.3%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	98.1%	97.2%	0.9%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	97.8%	93.7%	4.1%

利用状況（多目的1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	60.9%	64.6%	-3.7%

利用状況（多目的2・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	42,777,267	42,997,267	177,267	特になし
	計画	42,600,000	42,777,267		
利用料金（使用料）収入	実績	8,830,450	8,771,590	-169,550	特になし
	計画	9,000,000	8,500,000		
自主事業収入	実績	9,113,922	9,596,611	-1,086,078	教室事業が不調のため。
	計画	10,200,000	10,000,000		
その他収入	実績	0	0	0	特になし
	計画	0	0		
合計	実績	60,721,639	61,365,468	-1,078,361	教室事業が不調のため。
	計画	61,800,000	61,277,267		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	28,775,298	29,090,295	2,275,298	特になし
	計画	26,500,000	26,000,000		
物件費	実績	22,624,285	21,912,995	724,285	特になし
	計画	21,900,000	21,900,000		
修繕費	実績	6,208,323	7,762,128	2,208,323	コインロッカー更新費用が2,136,200円要したため。
	計画	4,000,000	4,000,000		
自主事業支出	実績	6,326,515	6,558,137	-1,773,485	事業収入（教室収入）が減少したこと に比例し事業支出がUPしたため。
	計画	8,100,000	8,000,000		
その他支出	実績	1,723,482	2,033,527	423,482	計画以上の修繕事案が多く発生し、本社の現地訪問回数が増加し、本社管理費が増加したため。
	計画	1,300,000	1,300,000		
合計	実績	65,657,903	67,357,082	3,857,903	特になし
	計画	61,800,000	61,200,000		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	111.3%	A	

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・各階ロビー、廊下の照明を間引点灯。 ・日中は明るさによって消灯・点灯をし節約。 ・体育場のLED照明、半灯にて電気代を節約。 ・コピー用紙の裏紙の再利用。 ・紙媒体でのチラシ等を節約し、近隣施設の掲示板にPOPを掲示したりホームページを活用する。	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

令和 7 年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

- ・施設利用者アンケートを実施し、結果・施設からの回答を館内に掲示する。
- ・卓球台の劣化が激しかった為、昨年に引き続き卓球台を一部更新した。
- ・各教室で教室内容を気軽に体験できるよう無料体験会を実施した。
- ・館内掲示物のデザイン統一化を図り、見やすくわかりやすくなった。
- ・シューズのまま履けるトイレ用スリッパを購入配置した。
- ・利用団体交流会の開催（ピククルボール）。

6 外部専門家意見

高い利用率を維持しながら、昨年度より利用者満足度も目標を達成しつつ更に 8 Pt上昇していることは評価できる。来年度以降も高い水準を維持向上させるために、利用者からの苦情に対して迅速に対応する姿勢を維持し対応願いたい。

一方で、自主事業については、教室事業の不調により昨年度からさらに収入が減少している。無料体験会等の対応も試みられているようであるが、教室受講者や潜在的利用者のニーズを把握・分析し、受講率の向上やニーズをよりの確に捉えた教室の設定・見直しなど、民間事業者のノウハウを活かした柔軟な施策を講じながら、利用者の獲得につなげていただきたい。

収支については、収入が計画を下回る一方で、支出に関しても教室事業が不調な自主事業経費を除いて軒並み計画値を上回っており、収支を悪化させている。今般の人件費や物価の高騰の影響があることは理解するものの、経営ノウハウを有する民間事業者が公の施設の経営を担いながら、赤字化している現状は適切とはいえない。管理費の縮減に係る取組状況が昨年度と同じ内容であるため、民間事業者ならではのアイデアや工夫により、更なる管理費の縮減に取り組んでいただき収支の改善につなげていただきたい。

7 最終評価

評価項目		評価	所見
成果指標の達成		A	
市費の縮減		B	
管理運営の履行状況		B	
施設	施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
	施設の管理運営		
	事業計画の実施状況		
	施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性			
総合評価		B	

令和7年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立大正屋内プール
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	大阪クリーン工房・SSK・KSC共同事業体 【構成員】 株式会社 クリーン工房 株式会社 エスエスケイ 株式会社 ケー・エス・シー
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		83.0%
達成率		103.8%

2 管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		87.0%
達成率		108.8%

2 管理運営の成果・実績（アイススケート）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		
達成率		

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	52,668	46,175	6,493
稼働率			

利用状況（屋外プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	22,224	17,071	5,153
稼働率			

利用状況（アイススケート）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	73,615,681	74,592,981	1,115,681	特になし
	計画	72,500,000	73,615,681		
利用料金（使用料）収入	実績	21,851,900	21,024,550	1,751,900	特になし
	計画	20,100,000	20,000,000		
自主事業収入	実績	41,779,187	40,536,906	16,279,187	プール教室事業が好調のため。
	計画	25,500,000	25,000,000		
その他収入	実績	67,026	3,744	67,026	特になし
	計画	0	0		
合計	実績	137,313,794	136,158,181	19,213,794	自主事業収入がUPしたため。
	計画	118,100,000	118,615,681		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	42,839,625	44,005,769	-660,375	特になし
	計画	43,500,000	43,000,000		
物件費	実績	53,176,026	49,975,526	-1,823,974	特になし
	計画	55,000,000	55,000,000		
修繕費	実績	1,327,744	5,070,450	-672,256	特になし
	計画	2,000,000	2,000,000		
自主事業支出	実績	20,633,921	20,179,273	6,033,921	事業収入（教室収入）が伸びたことに比例しUPしたため。
	計画	14,600,000	14,500,000		
その他支出	実績	5,437,341	2,635,411	2,437,341	緊急案件が数件発生し、その為に本社からの訪問回数が増え本社管理費が増加したため。
	計画	3,000,000	3,000,000		
合計	実績	123,414,657	121,866,429	5,314,657	特になし
	計画	118,100,000	117,500,000		

4 管理運営状況の評価（1 次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	103.8%	B	

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・各階ロビー、廊下の照明を間引点灯。 ・日中は明るさによって消灯・点灯をし節約。 ・体育場のLED照明、半灯にて電気代を節約。 ・コピー用紙の裏紙の再利用。 ・紙媒体でのチラシ等を節約し、近隣施設の掲示板にPOPを掲示したりホームページを活用する。	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

・施設利用者アンケートを実施し、結果・施設からの回答を館内に掲示する。 ・各教室で教室内容を気軽に体験できるよう無料体験会を実施した。 ・館内掲示物のデザイン統一化を図り、見やすくわかりやすくなった。 ・シューズのまま履けるトイレ用スリッパを購入配置した。 ・スタジオレッスンの受付開始時、ジム受付付近が混雑し通りにくいとお声があった。 混雑を避けるため、廊下に専用の待機列ラインを確保。受付開始 3 0 分前から整列開始とし、混雑解消と安全な通行スペースの確保が整備できた。 ・キッズスイム受講生の保護者送り迎え時の路駐。近隣住民から苦情電話があった。 全体LINEで保護者へ注意喚起。大正警察署に巡回強化を依頼。

令和 7 年度 指定管理者年度評価シート

6 外部専門家意見

昨年度目標未達であった利用者満足度は今年度目標を達成できており、また、利用者数も前年度と比較してプールは1.1倍、トレーニング室は1.3倍と伸びており評価できる。利用者満足度についても83%、87%と高い水準にあることから、今後はさらなる向上に向けて、どのような点に改善の余地があるのかを把握し、運営上の工夫や随時の対応によって改善可能な点について、着実に満足度及び利用率の維持・向上につなげていただきたい。来年度以降も高い水準を維持向上させるために、利用者からの苦情に対して迅速に対応する姿勢を維持し対応願いたい。

収支については、昨年度も好調であった自主事業収入が今年度も更に伸びており、収支の黒字に大きく貢献している。一方で、支出に関しても、好調であった自主事業にかかる経費が収入に比例して増となっているものの、プール水の温度管理をこまめに実施しガス使用量を抑えるなどして物件費等も削減できており大いに評価できる。

引き続き、地域住民の多様なニーズに応えながら、より利用しやすく魅力ある施設づくりを進めるとともに、健全な収支の維持を図り、安定した施設運営に取り組んでいただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	